

【特集】

夏季一時金 支給への期待高まる

2026年夏季一時金について、多くの企業で前年を上回る支給への期待が高まっています。

春闘での賃上げに続き、働く人たちの暮らしを支える重要な課題として、岐阜一般労働組合内でも交渉が進められています。

大手企業では、業績回復を背景に前年並み、または増額回答が相次いでいます。一方、中小企業では物価高や人件費負担の影響も大きく、厳しい経営環境の中での対応が求められています。



生活改善へ 労組の取り組み



岐阜一般労働組合では、「物価上昇に負けない生活改善」を重要課題として掲げ、組合員の生活実態を踏まえた交渉を進めています。

特に、食料品や光熱費の値上がりが家計を圧迫していることから、一時金を含めた総合的な賃金改善が必要との声が広がっています。また、非正規雇用労働者への一時金支給や、働き方に応じた公平な処遇改善についても議論が進められています。

2026年 夏季一時金のポイント

連合の夏季一時金集計 (5/12現在) では、

要求月数
2.79ヶ月

回答月数
2.53ヶ月

要求額
882,932円

回答額
822,065円

- ✓ 前年より改善しているものの、要求額には届かない「慎重回答」が多い
- ✓ 製造業は堅調、サービス・交通運輸は低めという傾向が継続
- ✓ 回答月数は前年を上回り、企業収益改善が一定反映

安心して働ける職場づくりへ

私たち労働組合は、安心して働き続けられる職場づくりと、すべての働く仲間の生活向上を目指し、今後も取り組みを進めていきます。

みんなで
支え合い、
よりよい未来へ!

